

質問3-5 上尾丸山公園の水辺の景観について、どのようになってもらいたいですか。

- ①水草や野鳥などの在来種が豊かな、美しい水辺になってほしい。
- ②水面のみの水辺の景観でもよい。
- ③水辺の景観には興味がない。

コラム4 自然再生と魚釣りの関係性及び大池の利用について

- ▼上尾丸山公園では長年、コイやヘラブナなどの魚釣りが楽しまれておりました。魚釣りは、自然のなかでゆったりした時間を過ごしながら、老若男女を問わず楽しむことができるレクリエーションです。
- ▼一方、残置された釣り糸や釣り針で水鳥が怪我をしたり、ねり餌やまき餌が水の透明度低下の一因となることで、自然や野生生物のバランスが崩れるきっかけとなる可能性があります。かいぼり時には、釣り竿、釣り針、餌袋などの用具が泥の中からたくさん見つかりました。
- ▼大池において多様な在来種を再生し、水質改善につなげるため、昨年度のかいぼりで、捕獲された外来種はすべて駆除しました。外来種とは、国内外を問わず、周辺地域の外から人の手で持ち込まれた生き物です。外来種の存在は、自然のバランスを崩し、池の自浄作用を低下させる原因になると考えられています。したがって、今の大池には外来種のコイ（飼育型）や国内外来種のヘラブナはいない状況です。
- ▼令和2年4月からは、かいぼりによる自然再生効果の検証を行っています。この検証期間中は、正確な効果検証を行うために大池における魚釣りはご遠慮いただいております。また、植物採集、野鳥などの生き物への餌やり、生き物の持ち込み・持ち出しなども自然のバランスを崩すためご遠慮いただいております。
- ▼浄水場の水質に影響するような大池の水質は改善が必要です。そのことを踏まえて、今後の大池や魚釣りの在り方について、市民の皆様とともに検討していきたいと考えております。



魚釣りがされていたところの大池の様子
池岸や、中の島で魚釣りをしている人がいました



大池で見つかった魚釣りの用具
水鳥にからまったり、刺さったりする可能性があります

質問4-1 これまで上尾丸山公園で魚釣りを楽しまれたことはありますか。

- ①ある ②ない ③魚釣りはするが、上尾丸山公園ではやったことがない

※質問4-1を②、③と回答した方は、質問4-3に進んでください。